

# 高梁市 議会 だより

特集

## 議会報告会開催レポート ②

★ 6月定例会開催

★ 一般質問 ここが聞きたい!

⑤

★ 委員会報告 管内視察を行いました

⑬

高梁高校では、天文部の生徒と先生が4年間かけて、天体望遠鏡を修復し、7月12日夏の星空ウォッチングが行われました。

ダイジェスト

# 議会報告会開催レポート

高梁市議会では、市民に開かれた分かりやすい議会を目指して、平成23年から議会改革を進めています。平成24年には議会の基本ルールとなる「議会基本条例」を制定しました。そして、4月22日から26日までの5日間、第1回となる議会報告会を開催しました。市内5会場で108人の市民の方に参加していただきました。

## 市民からの意見・提言等への対応

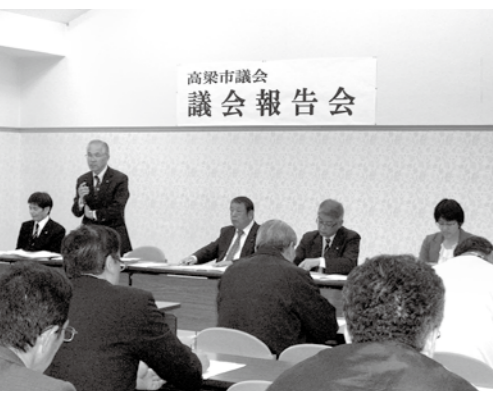
意見	現在の図書館へのニーズと対応策について説明がなく、建設位置や駐車場などの入り口論議が目立っている。高梁市としてどのような図書館を目指すのか。
対応	委員会としても重要課題と認識しており、行政の動向を見極めながら、議論を重ねていく。
意見	新中央図書館は、駐車場や利便性の確保など、行きたくなるような図書館にしてほしい。
対応	ご意見として承り、市へ伝え、委員会としても協議していく。
意見	議会基本条例の運用規則は作っているのか。
対応	現時点ではガイドラインで運用していき、今後検討していく。
意見	今日の報告会をどのように反映させるのか。
対応	詳細についてはホームページへ掲載する。



有漢会場の様子



成羽会場の様子



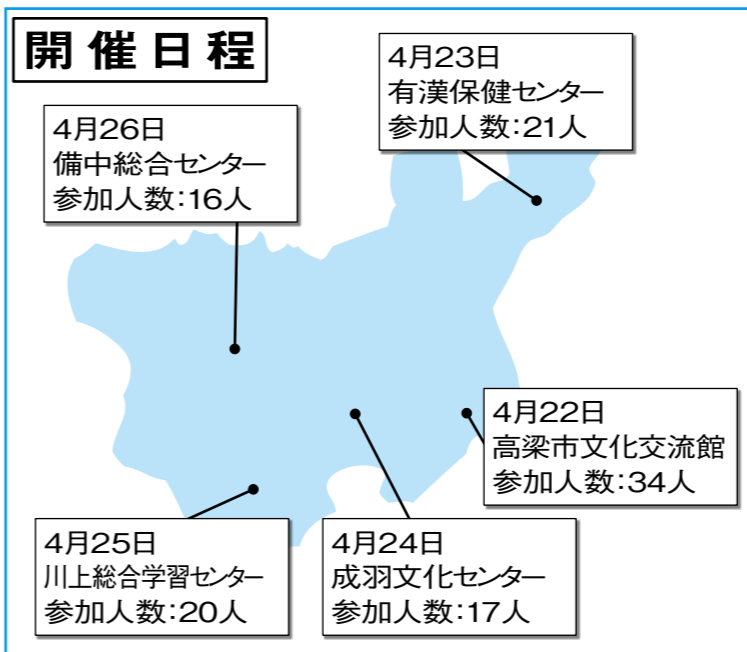
川上会場の様子



備中会場の様子



高梁会場の様子



会場アンケート  
こんな意見が寄せられました！

- 報告事項の羅列で資料も不足しており、分かりにくかった。
- 予算を決定する前に、大きな事業に関しては質問の場があってもいいと思う。
- 議会が市民の中に出て行くことの意味は大きい。
- 議会は執行権がないので報告会はあまり意味がない。参加者を増やす対策を考えよ。
- 何が目的なのか分からなかった。形式的な感じがした。
- 名称が、「報告会」では一方通行のイメージが強く、参加者が尻込みしてしまうのではないか。名称を「意見交換会」などに変更すべきだ。
- 会場に地元の議員が出席していない。次回から出席してほしい。

次回の議会報告会は11月の予定です。

### 第1回議会報告会の流れ

- H24 12月** 議会活性化特別委員会を設置
- 平成24年12月議会において、議会基本条例の運用、検証及び議会の活性化に関する調査研究を行うため議会活性化特別委員会を設置しました。
- H25 3月** 議会報告会の実施を決定
- 4月** 案内チラシを配布
- 4月10日にポルカ、イズミにおいて議会報告会の案内チラシを配布しました。一人でも多くの市民の皆様に参加していただくために特別委員会の議員で手分けして行いました。



### 4月

議会報告会を開催  
議員が4班に分かれて市内5会場で開催しました。

### 5月

報告書の取りまとめ  
5月13日、21日に各班の議会報告会報告書の取りまとめを行いました。

### 6月

委員会で要望や意見について議論・検討  
6月議会の常任委員会では要望や意見について議論し検討しました。検討した結果を取りまとめ議長に提出しました。

### 7月

回答をホームページに掲載  
議会での検討結果や、要望・意見を市長へ送付し、ホームページに掲載しました。

**6月議会で審議された主な議案**

**高梁市消防団員の任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例**  
この条例は、団員の減少や仕事の中での活動を補完する目的で、各分団の推薦により昼間の活動に参加できる者を機能別消防団員として登録するものです。

**高梁市老人スポーツ交流センター条例を廃止する条例**  
ききょう緑地内（市民プール横）にある施設を老朽化のため撤去するもので、この施設にある倉庫・トイレは、新設される市民プールに併設されます。

**財産の取得に関し議会の議決を求めることについて**  
平成26年4月にサポートが終了する280台のノート型パソコン（ウインドウズXP）を更新するものです。

6月議会で審議された主な議案



朝霧温泉「ゆ・ら・ら」

**「ゆ・ら・ら」検討協議会を設置**  
議会として健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」を今後どうするかを考えるため、「ゆ・ら・ら」検討協議会を設置しました。今後、協議会では、「ゆ・ら・ら」についてゼロベースから委員間の討議を重ねる中で意見をまとめ、全員協議会に諮り議会の提言として市長に提出することとしています。



6月定例会

平成25年第2回高梁市議会（定例）は、6月10日に招集され、27日までの18日間の会期で開催されました。

一般質問では、議員13名が41項目にわたって質問しました。

# 6月定例会開催

## ■ 議決結果

平成25年度一般会計補正予算など市長提出の議案8件のうち、1件については報告を受け、残り7件すべてを承認、可決しました。

また、市民団体などから議会に寄せられた請願3件、陳情1件については、1件を採択、3件を不採択とし、議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。

## 6月定例会で賛否が分れた議案等の議決結果

○ 賛成 ● 反対

件名	石井	石部	石田	黒川	三村	内田	宮田好	森田	大森	長江	柳井	倉野	植田	川上修	宮田公	川上博	大月	妹尾	難波	
専決処分の承認を求めることについて	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
国に対して最低賃金上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見提出を求める請願書	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○
TPP交渉参加に反対する意見書提出を求める請願	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○
しょうがい者も含め全ての高梁市民に公平な就労機会の保障を求める陳情書	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○

◎ 他の議案は全会一致で可決しました。

## 採択された請願

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書

**Q. 隊員としての継続は可能か**

**A. 継続は考えていないが、定住支援を考えた**

**地域おこし協力隊について**  
森田 地域おこし協力隊については、三大都市圏等の地域から人材を積極的に誘致し、定住・定着を図り地域力の維持向上を目的に総務省が制度化している。その委嘱については地方自治体が行い、財源措置を国が受け持つ事業である。現在3名の隊員が活動しており、今年度も1名の隊員募集を行っている。今後とも増員の考えはあるのか。

**市民生活部長** まちづくり推進委員会の意向を聞きながら高梁地域への募集を検討し、順次委嘱していききたい。

**森田** 財源措置は最長3年となっているが、引き続き隊員として活動を希望した場合継続は可能か。

**市民生活部長** 隊員としての継続

**Q. 隊員としての継続は可能か**

**A. 継続は考えていないが、定住支援を考えた**



ここを聞きました

森田 伸一

- 地域おこし協力隊について
- 木質エネルギーについて

**木質エネルギーについて**  
森田 「公募による里山整備」と「里山整備促進事業」で発生する木材を有効活用するため、市内の作業所等で薪ストーブ用の「割る木」に加工してはどうか。里山整備の推進と作業所等で働いている方たちの就労支援になり、結果、住環境の優良化につながると考えるがどうか。

**市長** 里山整備をPRし、発生した木材を木質エネルギーとして使わない手はない。提案内容をしっかり受け止めたい。木材置場、作業機械については市で考えたい。

Q. 高梁市の将来の人口減少、変動に対応した包括的な対策と、それに伴う一層の産業振興、定住化施策の必要性について

A. 人口減少は下げ止まりつつある。平成31年の総合計画の3万3,000人を達成すべく全力を尽くす



ここを聞きました

- 2040年の岡山県内人口推計に見る高梁市の人口推計について
- JR伯備線各駅、インターチェンジなどの交通インフラを生かしたまちづくりについて

急激な人口減少下での、次代のまちづくりの担い手とリーダーシップについて聞く

大森 2040年の高梁市の人口減少率は県下27市町村の中で最大になっている。今以上職員の意識改革・危機感が必要。ポジティブ(前向き)思考に持っていくためには行革も必要だが、トップの一層のリーダーシップが必要ではないか。

市長 職員のモチベーション(意欲)を上げるためのさまざまな取り組み、試みを始めている。

大森 町を積極的に維持していくには、それを支えてくれる担い手が必要。団塊の世代の後の担い手として「高齢者」「女性の社会進出」「外国人」などが考えられるが市としての包括的対策、戦略はあるのか。

政策監 持続的な社会の実現のため、環境や人の多様性に一層配慮したまちづくりを進める。

市長 それぞれの特性、技能を生かせるような環境づくり、条件整備や受け入れ態勢が必要だと思う。

JR伯備線各駅、インターチェンジなどの主要交通インフラやそれぞれの地域、地理的特性を生かしたまちづくりについて

大森 備中川面駅、方谷駅、木野山駅や漢ICなどの交通インフラとその地理的特性、歴史、環境を生かした市全体の戦略的ストーリーの構築をしてはどうか。

市長 交通インフラなどを生かした企業誘致、定住対策、優良宅地分譲など地理的特性を考えたい戦略的まちづくりを進めていきたい。



ここを聞きました

- 市の公共財産について
- 市道の維持管理について
- 成羽病院について

Q. 使っていない市の建築物の取り扱いについて

A. 売却処分も視野に入れ検討していく

施設の有効活用と市道の維持管理費の増額を

黒川 遊休化した行政財産のうち箱ものはどれくらいあるのか

黒川 遊休化した行政財産のうち箱ものはどれくらいあるのか

黒川 市道の老朽化が進んでいるが、維持管理予算が少額すぎるのではないか。

産業経済部長 6月の補正予算において、国からの防災・安全交付金が予算化された。今後、年次計画により事業を実施していきたい。



ここを聞きました

- 国保加入者の短期人間ドックの定員について
- 高梁市健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について
- 音声による告知放送の再検討はできないか

Q. 「ゆ・ら・ら」活用の検討はどう進めるのか

A. 議会と意見交換しながら進めたい

活用案については議会・地元住民と十分な協議を

宮田 「ゆ・ら・ら」調査検討委員会から活用案が答申された。今後具体策を検討する段階で、議会とも協議していく必要があるのではないか。

市長 答申された活用3案を参考に、議会とも意見交換しながら検討を進めたい。

宮田 検討する組織体制はどう考えているのか。

市長 ささまざまな視点で検討していく必要があり、横断的な組織を考えている。

宮田 市民にもさまざまな意見や考え方があ。特に地元住民には強い思いもある。執行部は、可能



ここを聞きました

- 高梁市非核平和都市宣言に基づく市政について
- 「ゆ・ら・ら」跡地の活用について
- 農業経営を圧迫している円安被害対策について
- 本市総合計画において、農産物の加工、ブランド化を農協や企業と連携して推進するとあるが具体的内容を問う
- 学力向上を図る教育について

Q. 高梁市非核平和都市宣言に基づく市政を

A. 核兵器廃絶は当然進める、「平和市長会議」へも加盟する

世界と地域の平和実現のために

難波 非核平和都市宣言をしていく市として、引き続き核兵器廃絶、憲法9条を守るのか。世界の核兵器廃絶を訴え活動している「平和市長会議」に加盟しないのか。「核兵器禁止条約を求める署名」に取り組みべきではないか。

副市長 憲法9条の戦争放棄は当然であり、「平和市長会議」への加盟手続きを行っている。署名活動はできないが各種手段で広報は行う。

「ゆ・ら・ら」跡地の活用について

難波 「ゆ・ら・ら」調査検討委員会から施設の活用について3案が提出されている。いずれも多額の市費投入が必要となるものだ。

今後は「公設民営方式」をやめて「完全民営方式」や「撤去・廃止」も考えるべきではないか。

健康福祉部長 調査検討委員会では施設の活用方法について検討しており、撤去については議論から除外された。

難波 サッカースタジアムの建設案も示されている。しかし、施設建設には巨額の費用が掛かり、市民合意が必要である。吉備国際大学の意向はどうなのか。また、民間で建設し運営する構想はないのか。

教育次長 スポーツによる地域間交流を、本市の交流人口100万人プロジェクト推進の要と考えている。施設整備は、自治体が国や県の補助を受けて行うのが一般的である。



休館中の朝霧温泉「ゆ・ら・ら」

な限り検討状況を明らかにし、市民の声も聞く必要があるのではないか。

市長 すでに地元住民から要望書が提出されているので、これらも参考にしたい。今後活用の方向性が出たときに、市民の意見も聞いていきたい。

Q. 所有者の分からなくなった土地が将来の市政に弊害を及ぼすのでは？

A. 具体的な数字は把握していないが実際に事例はある



ここを聞きました

- 土地の相続対策について
- 図書館建設について
- 市内観光について
- 市役所のICT化について

土地の所有権を明確にしていくサポートを

石井 土地の所有権が原因で、土地の所有者が分からなくなることが全国的に問題視されてきている。高梁市では対策をとっているのか。

政策監 土地絡みの事業を進めるときに、地権者が市外にいるため事業ができないという事例はある。

石井 市外にいる所有者に対して自治体が積極的に働きかけていくべきではないか。

政策監 土地や建物の所有権や相続問題に自治体が介入することは難しい。市内の空き家・空き農地に関しては情報バンク制度の活用を周知していきたい。

高梁市の民俗資料をアーカイブス化するべき

石井 現在、集落が保持している民俗資料をデータベース化するアーカイブス(書庫)機能を新図書館の一つの柱として位置づけられないか。

教育次長 民族資料は各地域局が保管している。データ化に関しては着手していないが、将来、行わなければならない時期が来るだろうと考えている。

石井 図書館の建設は位置ありきではなく、運用面から考えてほしい。賑わいの図書館を駅前、それ以外の機能を現在の場所にという形は考えられないか。

教育次長 一つの参考意見として承らせていただく。

Q. 川上中学校仮移転、今後どうするのか

A. 仮移転校舎を継続使用する方針である



ここを聞きました

- 教育行政について
- 人口減少に伴う市政運営について
- スマートコミュニティについて

教育行政について

内田 川上中学校については、現在、城南高校川上校地に仮移転をして、改築後元の場所に戻る方針が示されている。3月定例議会において、教育委員会は2月に実施したアンケート結果を受けてPTA・地域住民の真意を確認するとしていたが、その後の協議状況はどうなっているのか。

教育長 アンケートの結果は、「今の校舎が快適」が62.3%、「多少不便だがこのままでいい」が35.8%、「前の校舎がいい」はゼロだった。こうした生徒の意見は最優先すべきと考えている。

城南高校川上校地は耐震化されており、ゆとりもあるため、このまま川上中学校として整備を行っていくこととした。今後、関係者に

方針変更を説明し理解が得られれば、未改修部分を改修し教育活動の充実発展に努めたい。

人口減少に伴う市政運営について

内田 「地域別将来人口推計」によると、高梁市の2040年の人口は2万234人と推計され、県下最大の減少率である。この対策として、人口減少に対する施策として、人口減少を見据えた財政運営が肝要と考えるが、どのような認識を持っているのか。

市長 将来人口に対しての警鐘をいただいたと考えている。人口減少を食い止めるための施策を打つことが重要であり、これまでの施策の真価が問われるという認識を持っている。

Q. 医療と介護の連携による在宅サービスはどのように充実させていくのか

A. 在宅医療連携拠点事業で充実させていく



ここを聞きました

- 高齢者介護サービスの充実について
- ICT(情報通信技術)の取り組みについて
- 障がい者対策について

川上 在宅介護の担い手が嫁ではなく、息子や娘の時代に入っていく中で、介護保険制度の円滑な運営とサービスの質の向上についてどのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長 人口減少に伴うマンパワー不足に対応するため、地域の方が支える側に回るモデルとして、川上診療所2階に川上高齢者見守り支援施設を設置した。

また、介護職員の確保と質の向上を目的とし、介護福祉士の資格を取得する者に対しての奨学金貸付制度や、介護職員養成研修等に掛かった費用の一部を助成する事業を同時に行っている。

川上 医療と介護の連携による在宅サービスの充実について、どのような取り組みを考えているのか。

健康福祉部長 高梁医師会の医師を中心とした高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会を設置し、医療と介護の連携事業に取り組んでいる。今後、必要な事業について協議検討し、事業実施を図っていく。

Q. 若者向け分譲宅地を格安の値段で

A. 販売額の低減につながる施策を今後も検討



ここを聞きました

- 定住対策について
- 市道名の一部変更について

三村 市内周辺部では、子どもが激減し、小学校が存続の危機に立たされている。小学校を後世に残すのも我々の務めである。定住対策と少子化対策のために、それぞれの地域に若者向け分譲宅地を造成し、格安の値段で提供してはどうか。

産業経済部長 特別会計で造成事業を行っており、収支均衡を前提としつつ、販売額の低減につながる施策については今後も検討していきたい。

三村 岡山県は高速道路網が充実している。人口流出、高齢者世帯化を防ぐために、過疎対策として

高速を使って遠距離通勤ができるように料金の補助はできないか。

市民生活部長 定住を促進する上での課題の一つとして研究する。

三村 本市は歴史、伝統、文化の城下町で、多くの偉人を輩出している。そこで、偉人ゆかりの場所や地域の市道名を、人物名を使つたものに変更し、看板を設置して市内の子どもから大人、また観光客まで広くアピールしてはどうか。

市長 非常にいい提案だと思う。道路名または愛称でもよいのではないかと考える。前向きに検討したい。



分譲宅地イメージ図



山田方谷通りイメージ写真

Q. 吹屋小学校保存修理のための財源確保を

A. 入場料の徴収は保存修理後に行く



ここを聞きました

- 人事について
- 財源確保について
- ゴミの収集について
- 教育行政について

特別公開時に入場料を徴収してはどうか

長江 旧吹屋小学校の特別公開がされているが、その際、入場料を徴収していないと聞く。文化財であり、これから保存修理も計画されていると思うが、財源確保の観点からも入場料を徴収すべきではないか。

教育格差解消のための行政放送活用を

長江 行政放送を活用して教育講座を開設してはどうか。



旧吹屋小学校

教育長 今年度、山田方谷について郷土の偉人として教えていくための漫画本を小学校へ配布する。また、方谷先生についてシリーズ的なものを作り、放映していきたいと考えている。

Q. 幼年期からの読書教育の充実を！

A. 学校園と情報共有しながら読書指導を推進する



ここを聞きました

- 人口減少とこれからの市政運営のあり方について
- 読書教育の推進について
- 市立図書館のあり方について
- 駅前周辺整備について

松原学園の読書推進教育について

宮田 松原学園では、読書推進教育の一環として「おやこでよんてみよう！」という冊子を作成し、読み聞かせを通した子どもたちへの読書習慣の定着と、親子のふれあいを実践している。幼年期読書教育の推進は、子どもたちの成長と円滑な親子関係の醸成にとって有効な取り組みであると考えている。こうした観点から、教育委員会が主体となって全市的に読書推進教育を推進すべきではないか。



おやこでよんてみよう

教育長 性急に事を進めるがゆえに説明が不十分であった部分もあり、そうした点を反省しながら予算執行ができるよう努力する。

市立図書館の建設について

宮田 図書館建設については、予算が可決されたにもかかわらず具体的な説明がない現状であるが、これをどのように捉えているのか。

Q. 市街地での公共事業の見直しを

A. 公共事業は市街地に集中していない



ここを聞きました

- 合併 10 年を迎えるが、市民の現在の暮らしぶりや、今後について問う
- 水道料金の引き下げを求める
- 図書館建設の再考を求める

大型公共事業より、市民の声を聞いて

石部 市街地での大型公共事業が連続して計画されているが、合併後10年で市民の暮らしはどうなったのか。市長が出向いて市民の声を聞く懇談会やアンケートを計画してはどうか。

政策監 講演や意見交換は行って

いる。市民の声を行政に生かしていきたい。

市長 公共事業は市街地に集中して

いない。市全域を見て優先順位をつけながら行っている。

産業経済部長 成り立ちによって

料金に差があり、統一に向けて調整中である。消費税については転嫁していない。

図書館建設の再考を求める

石部 図書館の建設が先行し、運営や内容についての議論が行われていない。将来を見据えた図書館計画を再考すべきではないか。教育次長 教育委員会として原点に振り返り検討し説明したい。副市長 執行部としては駅周辺で進め理解を得たい。石部 事務方、執行部で意思疎通ができていない。図書館機能のあり方や将来の方向性を考えて進めてほしい。

Q. 予算不足で町内会の維持管理が困難

A. いろいろな角度から研究したい



ここを聞きました

- 安心・安全のまちづくりについて
- 地域振興について
- 空き家対策について

安心安全のまちづくりについて

倉野 消火栓と器具の維持管理はどうなっているのか。

消防長 消火栓管理は消防署で

行っているが、器具については地元管理となっている。

倉野 器具のボックスやホースの

更新には補助が出るが、町内会会計での更新には無理があるので、市で対応できないか。



消火器具とボックス

地域振興について

倉野 納税組合廃止により町内会の活動収入が減少している。このままでは町内会の維持が難しくなるのではないかと。

市長 コミュニティの維持につい

ては、いろいろな角度から研究していきたい。

空家対策について

倉野 市内の空き家は年々増加している。その対策として、仏壇や位牌を市で管理することができないか。また、空き家の使用に関して、親族に意向調査を実施してはどうか。市長 早急にはいいかないが、今後研究していきたい。

総務文教委員会

平成24年度高梁市一般会計補正予算(第8号)

委員 学園文化都市づくり事業費の9500万円の内容説明を求める。
執行部 入学奨励金と広報費の補助金で、当初は地域再生基金からの繰入金を見ていたが、過疎ソフト債が充当されたため今回振り替えている。
委員 大学への支出について今まで反対してきた。今回は財源更正ということではあるが、この議案に反対する。
委員 この議案は、財源更正であり、具体的に事業が進んでいるため、賛成する。

産業経済委員会

しょうがい者も含め全ての高梁市民に公平な就労機会の保障を求める陳情書

委員 雇用の機会というのはそうそうあるものではない。国の法律があるから高梁市は何もしなくてもいいというのではなく、法定雇用率が4月から2.3%になったが、例えば高梁市は独自に2.5%にするという条例を制定してもいいのではないか。市に一考を投げ掛けるためにもこの陳情書を採用すべきである。

市民生活委員会

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

委員 一世帯当りの引き上げ額と、最高保険税額はいくらかと、最高構成や収入によって異なるが月額千円前後の引き上げとなる。最高額は医療給付費は51万円。後期高齢者支援金は14万円。介護納付金は12万円が上限となる。
委員 市民生活が大変なときに、加入者の負担を増やすべきでない。他市では一般財源から繰り入れをしているところもある。高梁市は2億円を超える積立金があり、取り崩して対応を求める。
委員 社会状況から見ると増税というのは問題だが、これだけ高齢者社会になると、市民の医療を守るために引き上げはやむを得ない。



視察に行きました!

市内の施設を調査

産業経済委員会

(委員長 倉野嗣雄)

5月16日に管内視察を実施しました。広瀬地区の雨水対策として計画されている雨水ポンプ場建設予定地の視察では、事業概要について担当課から説明を受け、事業の進捗状況と今後の計画についての質疑を行いました。



沖ノ原工業団地の視察

玉川町玉地区に造成整備されている沖ノ原工業団地の視察では、担当課から平成24年12月から営業を開始されている東伸運輸(株)高梁営業所の稼働状況の説明と、橋梁工事の進捗状況の説明を受けました。

旧高梁城南高校川上校地を利活用している農業試験研究施設の視察

視察では、アグリテクノ矢崎(株)から作物及び農業機械の実験状況について詳しい説明を受けた後、施設内を見学しました。



農業試験研究施設の視察

その他、うかん常山公園、備中町平川農場等の現状と今後の課題について視察を行いました。

市民生活委員会

(委員長 川上修一)

5月14日に次の施設の視察を行いました。

有漢保育園・長寿園・成羽病院・養護老人ホーム成羽川荘・軽費老人ホームグリーンハイツ成羽川・川上高齢者見守り支援施設・高齢者総合在宅支援施設ほのほの荘・グループホームやすらぎ荘。
それぞれの施設の運営状況や課題について、担当者から説明を受け、各委員が質疑を行いながら各施設の現況について理解を深めました。

特に、長寿園と成羽川荘・グリーンハイツ成羽川は、施設の老朽化も進み整備の必要性があり、グループホームやすらぎ荘についても待機者8名という状況にあり職員確保や施設整備の必要性を認識しました。



グループホームやすらぎ荘の視察

成羽病院では、神谷院長にも出席いただき、今後の地域医療のあり方などさまざまな観点から意見交換を行いました。
全ての施設について報告できませんが、少子・高齢化の進む高梁市において、子育てや高齢者施策はますます重要となり、それぞれの施設整備はもとより、政策対応の重要性を再認識した1日でした。

# 気になるスポット

The spot of Takahashi

## 木野山神社

平安中期の955（天暦9）年創建の古社で、木野山山頂に奥宮、山麓には里宮があり、備中松山藩主・板倉伊賀守勝静は軍馬飼育場守護神として特に崇敬しました。

さまざまな願いに霊験があるとされ、特に流行病などの霊験はあらたかといわれ、明治初期に中国地方に猛威をふるったコレラ病は一大悲惨事を巻き起こし、この業病を免れようとする人々が昼夜の別なく参拝したそうです。

現在も「きのやまさん」と親しまれ、県内外の人々の熱心な信仰、崇敬を集めています。

（里宮 木野山駅から徒歩5分・奥宮 木野山駅から徒歩60分）



木野山神社 里宮



木野山神社 奥宮

### 贈らない！ 求めない！ 受け取らない！ 寄付行為等の禁止について



公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄付行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また市民から市議会議員に対して、寄付を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆さんのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

### あなたの写真で、議会だよりの表紙を飾りませんか？



高梁市議会広報調査特別委員会では、身近な議会だよりとなるよう、市民の皆様から表紙の写真を募集しています。なお、今回は11月号の表紙写真を募集します。

#### 募集写真のテーマ

高梁市の四季折々の風景、名所、地域行事など

#### 応募方法

1. 作品には、題名、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号をご記入ください。
2. 直接議会事務局へお持ちいただくか、郵送でお願いします。デジタルデータの場合は議会事務局へご相談ください。

☆バリエーションまで  
高梁市議会事務局  
高梁市松原通2043  
☎0869-21-0276

編集  
議会広報調査特別委員会

委員長 宮田好夫  
副委員長 宮田好夫  
委員 石井美生、石田芳誠、石田仲誠、森田博一、川上博司、宮田好夫

## 編集後記

もうすぐ9月議会が始まり、平成24年度の各会計の決算が提出されます。

この時期は、今年度の各事業が本格的に進められている時期で、来年度予算も考えられていますので、決算審議で出される議会の意見などを、どのように今年度事業や来年度予算に反映させていくのが課題となります。

次号では決算審議を掲載する予定ですが、できるだけ分かりやすい紙面になるよう努力します。 宮田 好夫